

第11回 日本プライマリ・ケア連合学会 学術大会 シンポジウム11
男もつらいよ ～男性医師の多様性を知ることからはじめる働き方改革～

医師の個人力から多職種を巻き込んだ組織力へ みんなが幸せになるための仕組みづくり



みちのく総合診療医学センター／坂総合病院 救急科
佐々木隆徳

日本プライマリ・ケア連合学会 利益相反(COI)開示

筆頭演者名： 佐々木 隆徳

筆頭演者ならびに共同演者に、
開示すべきCOIはありません。

医師の在り方とは？

自分はどうか？

坂総合病院の紹介





宮城県塩竈市





- 災害拠点病院
- 地域医療支援病院
- 初期臨床研修指定病院


診療圏 約20万人

年間救急車 4200件

地域で唯一の急性期総合病院

なんでも診る

断らない



茨の道になるので
やめておきなさい

(当時) 福井大学
救急総合診療部 教授
寺澤秀一 先生

引用：<https://www.m3.com/news/iryoishin/646436>

ま、なんとかなるでしょ！





組織内起業

ソロプラクティス

人はいない
仕組みもない
文化もない

患者さんは多い
ERもICUも一般病棟も

成果を出すのに必死だった



労働時間？ ナニソレ？



2005年 卒業・入職

2009年 救急科 開設

2011年 みちのく総合診療医学センター 開設

2012年 総合診療科 開設

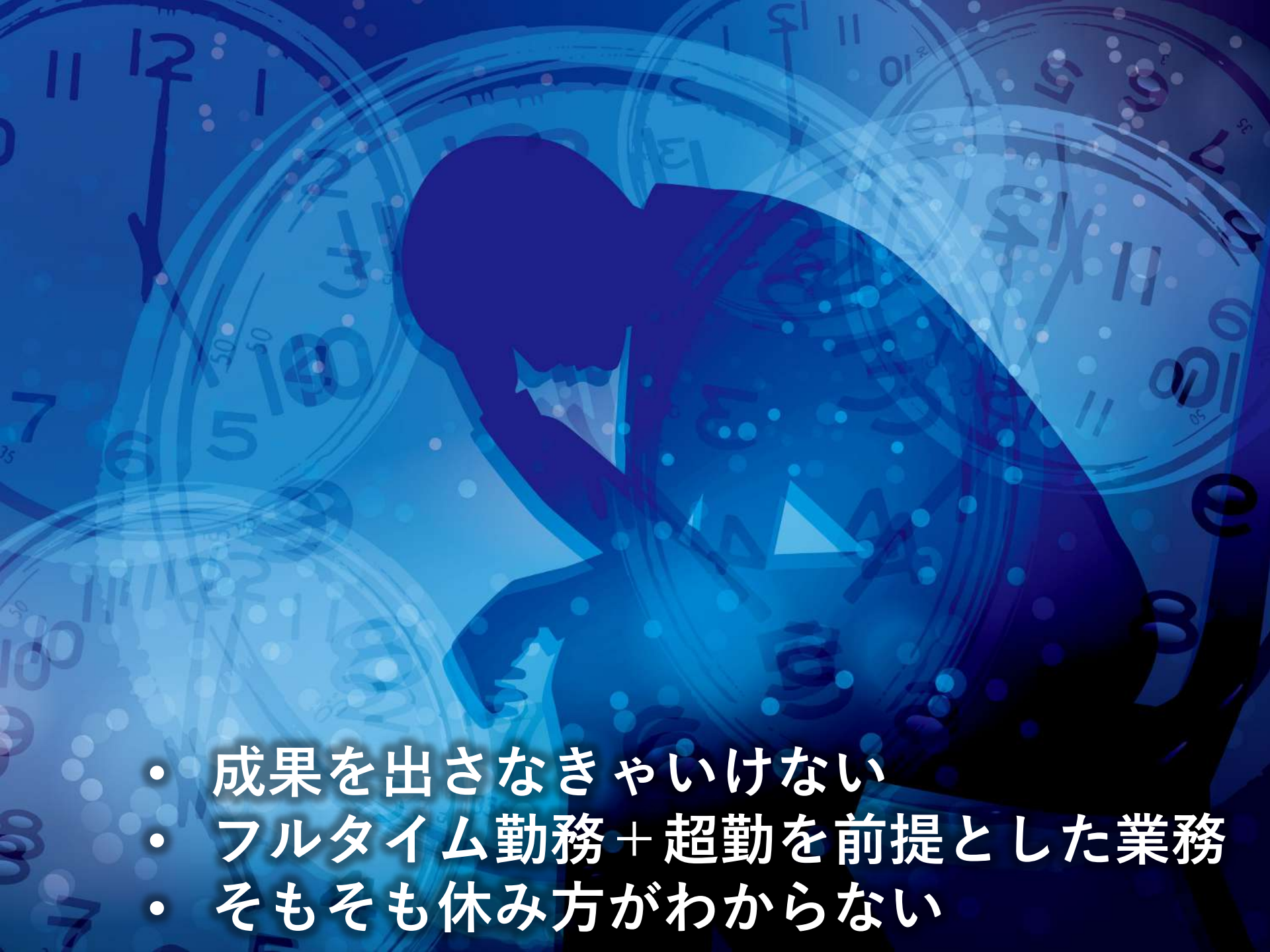
2015年 救急病棟 開設

轉機

- 2005年 卒業・入職
- 2009年 救急科 開設
- 2009年 結婚
- 2011年 第一子 出産
- 2011年 みちのく総合診療医学センター 開設
- 2012年 総合診療科 開設
- 2015年 救急病棟 開設
- 2015年 第二子 出産

子どもが中心



- 
- 成果を出さなきゃいけない
 - フルタイム勤務＋超勤を前提とした業務
 - そもそも休み方がわからない



家庭も仕事も不安定

価値観・考え方を
変える



嫌 われる

自己啓発の源流「アドラー」の教え

勇氣

岸見一郎
古賀史健

「家庭の平和があつてこそ、地域へ貢献できる」

「どんなに仕事へ貢献しても、家族にとっては”家にいない人”」

家庭も職場も地域も幸せになる
組織力と仕組みづくり



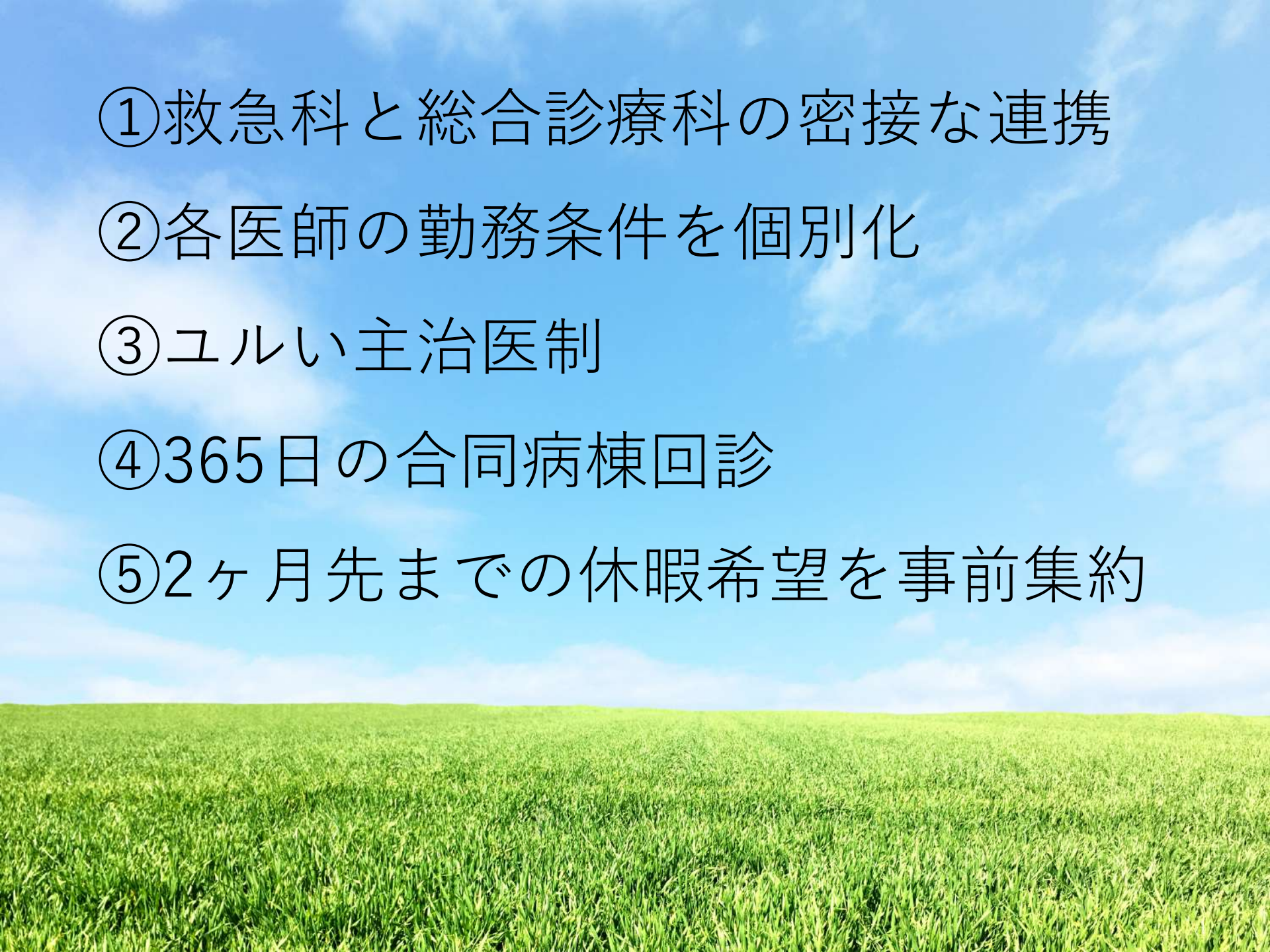
● **地域**に対して：**断らない医療**を提供する

● **部門**として：**他部署が対応できない**症例や状況へ適切に対処する

● **職員**として：各医師が**公私ともに毎日を無理なく愉しく**過ごしせるようお互いに**支え合い**ながら運営する

**誰かが抜けても
なんとかなる組織**



- 
- ①救急科と総合診療科の密接な連携
 - ②各医師の勤務条件を個別化
 - ③ユルい主治医制
 - ④365日の合同病棟回診
 - ⑤2ヶ月先までの休暇希望を事前集約

- 重症外傷を除いて全例応需方針のER
- 内科外来、訪問診療、高齢者施設嘱託医
- 稼働病床30（定床24）
- メジャー診療科と同等の1ベッドあたりの稼働額
- 医師5名（男性2名、女性3名、うち育児中4名）
- 月超勤27時間（医師平均）
- 有給休暇20日、特別休暇7日消化を目標

医師の在り方とは？

夫・父・子の在り方とは？

自分はどう在りたいか？



ご清聴ありがとうございました